

## 日台若手研究者共同研究事業中間報告書（環境・エネルギーグループ）

2023年2月 提出

### 【環境・エネルギーグループメンバー氏名】

- (1) 芳川恒志 東京大学公共政策大学院 特任教授 ※グループ長
- (2) 笹川亜紀子 東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員
- (3) ダニエル デル=バリオ=アルバレス 東京大学大学院工学系研究科 助教
- (4) 山口健介 東京大学公共政策大学院 特任助教
- (5) 渡辺凜 東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員

### 【研究期間】2022年1月～2023年2月

#### 1. 研究成果の概要（日本語800字または英語440語相当）

##### - 研究課題

“Japan-Taiwan Comparative Research on Off-Shore Wind Power Development and Lessons for ASEAN”

（「洋上風力発電開発に関する日台の比較研究とASEANの電力開発への貢献」）

- 本研究は、グローバルな脱炭素の潮流の中、日本と台湾の若手研究者が協力して、日本と台湾において再生可能エネルギーの中でも今後の拡大が特に期待される洋上風力について、電力供給者のみならず地域関係者、関係産業界等との検討等を通じて、これまでどのような知見が蓄積されてきているのか、また将来円滑かつ安定的に発展させるための条件等を分析し検討するものである。

また、洋上風力開発に関する日本と台湾のこれまでの経験を踏まえ、ASEANの洋上風力の発展を通じた電力開発にどのように活かせるのか、さらに東アジアからASEANを含む地域で一定の共通基盤を形成し、win-winの関係を築けるかを調査・分析も併せて行う。

以上の研究に基づき、政府はじめ関係者に向けた政策提言の作成を目指す。

このような計画の下、これまで日台の洋上風力開発の現状、メンバーの専門性や日本の洋上風力拠点からのニーズ等を踏まえ、当面以下の3点をテーマ・具体的分野として実施することを決定し、情報収集や民間企業や地元自治体など洋上風力の関係者との協議、ASEANの電力政策などについて基礎的な調査等を行ってきた。また、グループ内で日本と台湾の経験や知見を調査・分析するチームと、ベトナム（及びASEAN）の現状と今後の展開を調査・研究するチームに分けて実施している。

1. 日本の研究対象地域としての北九州における洋上風力に関する産業政策や地域経済・地域社会との関与のあり方に関する調査・分析。
2. 台湾における洋上風力事業の開発戦略や関連する産業政策の調査・分析。
3. ASEANの対象国としてベトナム

## 2. 達成度と課題（日本語800字または英語440語相当）

日本における調査・研究対象地域の選定に若干時間を要したこと、新型コロナウイルス感染症に伴う海外渡航に制約があったこと等から、調査・研究本体は進捗が遅れ気味ではあるが、一方で、北九州市との協力関係を構築し、さらに内外の洋上風力関係者との協議等関連する調査を行うことができ、研究自身は予定よりも厚みを増している。

最終年度の課題は、

- ①可能であれば現地に赴き台湾の洋上風力について地に足の着いた調査を行い、北九州における経験や知見と比較・分析すること、
- ②ベトナムにおいて現地調査と意味のある参加者を得て関係者会議を開催すること、
- ③日本、台湾及びASEANいずれにとっても意味のある最終報告をまとめること。

## 3. 今後の研究について

### （1）研究方針（日本語800字または英語440語相当）

日本と台湾の経験や知見を比較分析するチームにおいては、まず台湾の洋上風力について、政府、事業者、機器供給者、地元自治体等関係者を特定してヒヤリング等を実施する。その結果をもとに、台湾における開発戦略の特徴や成功事例、課題等を分析し、北九州を始めとする国内事例の調査で得られた知見を踏まえ、双方及びASEAN地域における開発政策へのインプリケーションを導く。

他方ベトナム（及びASEAN）の現状と今後の展開を調査・研究するチームは、ベトナムにおいてインフラや地元関係者の状況等について（実地）調査を行い、関係者との会議を開催したい。

そのうえで年後半以降報告の取りまとめを行う。

### （2）研究計画（日本語800字または英語440語相当）

- 5月 台湾現地調査
- 6月 ベトナム現地調査
- 9月 要すれば台湾あるいはベトナムで現地調査
- 12月以降 報告とりまとめ

## 4. 研究成果一覧（各成果日本語200字または英語110語程度の概要を付記）

### （1）雑誌論文

#### 1. 著者名：

論文標題：

雑誌名・巻号：

査読の有無：

発行年（西暦）：

掲載頁：

DOI または公開 URI：

概要：

## (2) 学会発表

### 1. 発表者（代表）名：

発表標題：

学会等名：

発表年：

概要：

## (3) 図書

### 1. 著者名：

書名（共著の場合は担当項目を追記）：

出版社名：

発行年（西暦）：

総ページ数（共著の場合は掲載頁を追記）：

概要：

## (4) 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）

### 1. 産業財産権の名称：

発明者：

権利者：

産業財産権の種類（国内・国外の別）：

番号：

出願（取得）年：

概要：

## (5) その他